

まこと通信

福岡県議会議員



一般質問

運動部活動・県ガイドライン作成へ 県立高校部活動実態調査も実施

6月議会では、運動部活動のあり方について県教育長に質問しました。

スポーツ庁は、今年3月「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定しました。

このガイドラインについて教育長は「国のガイドラインに沿って、適切に対応すべきであり、教員の働き方にもつながる」と述べました。

また、今後県版の「運動部活動ガイドライン」の作成も表明。なお、県ガイドラインが作成されるまで、各県立高校は、スポーツ庁のガイドラインを遵守することにも言及しました。

スポーツ庁が策定したガイドラインの大きな特徴は、現在の運動部活動による成長期にある生徒への影響をスポーツ医学的観点から論じていることです。

しかし、私が一番危惧するのは、このガイドラインが各学校現場でどれだけ遵守されるのか、ということです。スポーツ庁も県教委のみならず、各学校単位での計画策定を求めています。

今後ガイドライン徹底に向け引き続き注視していきます。



スポーツ庁ガイドライン主な内容

- 1 週当たり2日以上、毎週日曜日の休養日設定
- 2 1日の活動時間は平日2時間程度、休業日3時間程度
- 3 スポーツ医学的観点から効率的な部活動指導を顧問に要請
- 4 精神的・肉体的に厳しい指導や体罰の根絶
- 5 外部指導員や地域など多様な指導者を活用
- 6 運動部活動の方針策定を県・市町村・学校は策定すること
- 7 教員の部活動指導手当の見直し
- 8 文化部活動についてもスポーツ庁ガイドラインに準じること

豪雨災害

西日本豪雨 田川地域も大きな被害 道路河川で26箇所損壊



添田町の崖くずれの様子



田川市猪位金の浸水した道路

道路 県管理分のみ

路線名等	位置	被害箇所の状況
猪国豊前樹田停車場線	川崎町	崩土
添田小石原線	添田町中元寺	崩土、路肩崩壊
添田小石原線	添田町中元寺	崩土
英彦山添田線	添田町津野	路肩崩壊
英彦山香春線	添田町津野	道路崩壊
英彦山香春線	添田町津野	道路崩壊
国道322号	川崎町田原	路肩崩壊
国道322号	田川市猪国	歩道崩壊
川崎大行線	大任町	法面崩落
田川桑野線	田川市	法面崩壊
田川桑野線	川崎町安真木	路肩崩壊

7月5日から的大雨により福岡県内でも、死者3名、重軽傷者11名、家屋被害2,897件（いずれも7月12日現在）の被害が出ました。田川地域でも河川や道路で大きな被害が発生し、県土整備事務所や各市町村が急ピッチで復旧にあたっています。県管理河川道路の被害状況は表の通りです。

河川 県管理分のみ

路線名等	位置	被害箇所の状況
中元寺川	添田町陣屋	護岸崩壊
中元寺川	田川市池尻	護岸崩壊
安宅川	川崎町安真木	護岸崩壊
安宅川	川崎町安真木	護岸崩壊
猪位金川	田川市猪国	護岸裏陥没・土砂立木流れ込み
安宅川	川崎町安真木	護岸裏陥没
深倉川	添田町落合	護岸擁壁崩壊
呉川	香春町鏡山	護岸崩壊
泌川	田川市弓削田	護岸崩壊
中元寺川	川崎町川崎	護岸裏陥没
安宅川	川崎町安真木	護岸崩壊
彦山川	添田町落合	護岸崩壊・未満災
十津川	赤村赤	護岸崩壊
中元寺川	添田町中元寺	護岸崩壊
中元寺川	添田町陣屋	護岸崩壊

災害協定 締結

木造応急仮設住宅建設協定締結 佐々木も協定締結を後押し

6月5日、全国木造建設事業協会（福岡県では、福岡県建設労働組合、全福岡県建設労働組合などが加盟 以下全木協）と福岡県が、「災害時における木造応急仮設住宅の建設に関する協定」を締結しました。

今回の協定締結に当たっては、私も昨年12月議会において、応急仮設住宅の災害協定について、多くの建設団体との連携の必要性を訴えました。また、熊本地震の際には560戸もの木造仮設住宅の建設経験がある全木協との協定締結のため、後押しも行いました。

知事は、「仮設住宅の建設の実績と経験を有し、地域に根差した中小の事業者、現場に精通された建築技術者で構成された団体との間でこのような協定を結ぶことができ、大変心強い」と述べています。

全木協加盟団体は、それぞれ地域の中小零細建設業者をつないでおり、即応性や、地域経済振興の観点からも、今回の協定締結は意義のあるものだと思います。



杷木小学校運動場応急仮設住宅



旧宝珠山小学校運動場応急仮設住宅



災害対応を担う全木協加盟団体の皆様と、建築都市部長（左から5番目）

県政 報告会

佐々木まこと県政報告会 弓削田・猪位金校区で開催

私がこの1年取り組んできた活動や一般質問の内容などについて紹介するとともに、田川地域の課題などについて議論する「佐々木まこと県政報告会」を弓削田校区の上弓削田公民館・奈良公民館、そして猪位金校区では「いいかねパレット」をお借りし開催しました。

特に今回は「県政に関わる田川地域の課題」として、県立高校の魅力向上や国道322号線をはじめとした道路整備などを紹介しました。会場では、地域の課題や要望事項などについても多くの意見を頂きました。

また、「県政の動きがよく分かった」「ぜひまた開催してほしい」との声もありました。

今後、市内各所で県政報告会を開催したいと思っています。ぜひお越し下さい。

市民の皆さまから出た声

- ・県立高校の魅力向上に向けた取り組みを急ぐべき
- ・住民が満足いく公共交通機関の充実を求める 等



6月6日：上弓削田公民館



6月9日：奈良公民館



6月23日：いいかねパレット

県土整備 委員会

九州北部豪雨災害 復旧状況について

6月議会では、私の所属する県土整備委員会において、災害対応についての報告が行われました。

災害が毎年のように発生している状況であり、災害に強い地域づくりのため、県土整備部によるインフラ強化に向けた事業実施が急務です。

●県分（関係県土整備事務所分）

原形復旧					改良復旧				
	道路	河川	砂防	合計		道路	河川	砂防	合計
事業費	81億円	88億円	35億円	204億円	件数	3区間	13河川	57箇所	73件
箇所数	113箇所	98箇所	14箇所	225箇所	事業費	8億円	1,006億円	※236億円	1,250億円
着手済	79箇所	84箇所	12箇所	175箇所	合計				
着手率	70%	86%	86%	78%	事業費	89億円	1,094億円	271億円	1,454億円

・河川については権限代行の赤谷川、大山川、乙石川を含む
※砂防については県の見込み額

日田彦山線復旧に向けた福岡県の取り組みと課題

昨年7月に発生した九州北部豪雨により被災した日田彦山線（添田駅～夜明駅間）は、現在も運休が続いており一刻も早い復旧が求められています。

今年4月、復旧に向けた総合的な協議の場として福岡県、大分県、沿線市町村（東峰村、添田町、日田市）、JR九州で構成する「日田彦山線復旧会議」を設置。今後、復旧するための方策を具体的に議論することになっています。

添田駅～夜明駅間では、合計63ヶ所が被害を受け、特に5つの橋梁は損壊しており、かけ替えが必要となっています。

改良復旧に伴う費用負担 鉄道復旧前提で県支援も

日田彦山線には、東峰村の大肥川、平迫川の2河川に鉄道橋梁があり、JR平迫橋梁及び、JR福井橋梁で大きな被害が出ています。この2橋梁は橋げたの間隔が短く、水の流れを妨げているため、福岡県として、橋げたの間隔を広くとる橋梁架替工事が必要だという認識です。

その場合、福岡県が一部費用を負担することになりますが、「橋梁架替は鉄道復旧が前提条件」としているため、JR九州が橋梁架替に同意した場合、事実上鉄道復旧を決断した、ということになります。

日田彦山線の全面復旧費用は70億円ともいわれていますが、今後復旧費を誰がどのように負担するのか、厳しい協議が続くことが予測されます。



流木が絡まる日田彦山線の橋脚



東峰村の被災状況を視察している様子

遅れる鉄道復旧、ダイヤ大幅減便 JR九州は公共交通の責任を果たすべき

JR九州は、当初日田彦山線の復旧そのものについて否定的な発言や、自治体負担を求める発言を繰り返してきました。

JR九州は民営化の際、国から3,877億円にも上る経営安定化基金を得ていますが、株式上場にあたり返還を事実上免除されています。また鉄道の固定資産税減免などの優遇を受けており、今年3月期連結決算で売上高4,133億円、504億円の最終利益を出し、いずれも過去最高を記録しました。

一方、今年3月には、JR九州にとって最大となる合計107本の減便を行ったため、田川地域でも不便になったという声が上がっています。

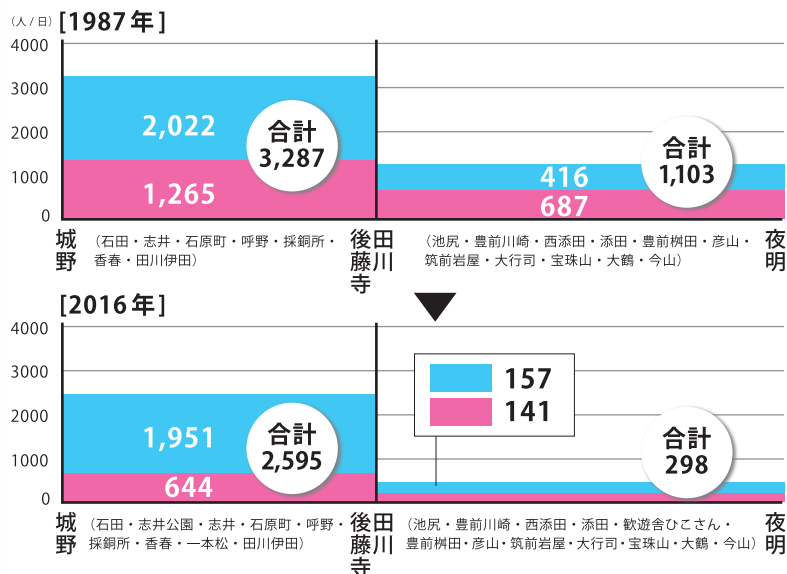
知事も県議会で「JR九州を一般の民間企業と同列に論じることではできない」と述べました。

日田彦山線の復旧は、今のところ復旧時期も全く見通せない状況が続いています。田川地域にとっても、英彦山観光や地域の公共交通として重要な役割を担っています。全面復旧に向け、JR九州は早期に取り組みの強化を行うべきです。

鉄道の現状－利用状況の比較－

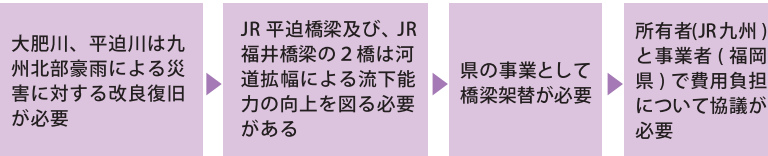
1987年から2016年の29年間で、城野駅～田川後藤寺駅間では約2割、田川後藤寺駅～夜明駅間では7割以上が減少。

■平均通過人員 定期 定期外

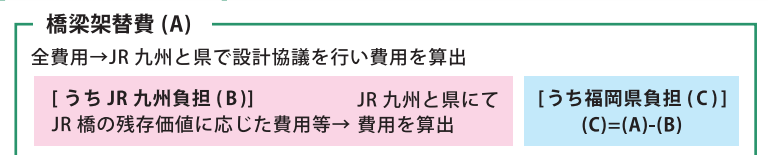


改良復旧に伴う費用負担及び今後の取り組みについて

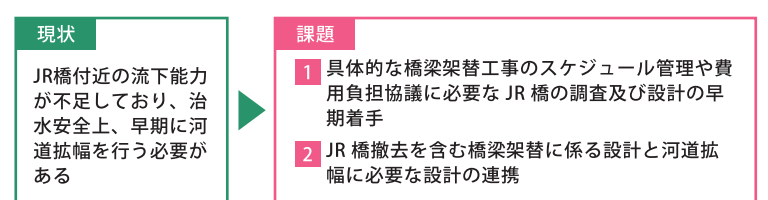
【費用負担協議の考え方】※橋梁架替は鉄道復旧が前提条件



【費用負担の考え方】



【今後の取り組みについて】



政務活動報告

6.5 田川地域国道整備促進期成会 福岡県県土整備部 要望



国道 201 号線や 322 号線などの道路改良・建設工事の推進に向けて、県土整備部の陳情を地元県議会議員として参加しました。道路整備は、経済発展や生活改善の基礎となるものです。特に国道 322 号線香春～大任町間については 2 年後の 2020 年 3 月の完成に向けて急ピッチで整備が進められています。

6.9 県立田川高校「嶽南祭」



文化祭行事では、各部活動が趣向を凝らした発表を行ったり、講演会を行ったりしています。

6.10 車いすフェンシング 全国大会視察



田川市で開催され、前回のパラリンピック金メダリストも参加。田川市はドイツの車いすフェンシングのキャンプ地に内定しています。

6.13 県議会会派控え室にて



6 月は議会があったため、終日議会棟での仕事が続きました。写真は私の机。議会になると書類で一気に散らかります。

6.16 福岡県高等学校教職員組合第 76 回定期大会



県立高校の教職員で構成する高教組の定期大会に来賓参加。県立高校における働き方改革や部活動などについて、経過を報告しました。

福岡県議会議員

佐々木 まこと プロフィール

1981 年 5 月 6 日生まれ (37 歳)
田川市立猪位金中学校卒業・福岡県立東鷹高校卒業
龍谷大学法学部政治学科卒業
北九州市立大学大学院法学研究科修了(法学修士)
社会福祉法人猪位金福祉会入社
田川市議会議員当選 (25 歳 全国最年少)
田川市議会議員 2 期目当選 (29 歳)
福岡県議会議員初当選 (33 歳)
・広域行政推進対策特別委員会副委員長
・県土整備委員会委員
・会派政策審議会事務局長



佐々木まこと事務所

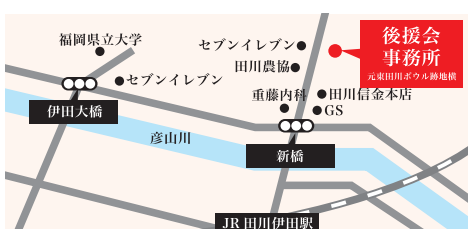
〒825-0002 田川市伊田4510-6

tel 0947-85-9015

fax 0947-85-9007



佐々木 まこと で検索



6 月活動報告

- 1 終日地元陳情処理活動
- 2 県立西田川高校体育大会 / 田川市区長会総会 / 田川市区長会懇親会
- 4 県議会会派政策審議会 (福岡市)
- 5 福岡県土木組合連合会社員総会 (福岡市)
田川地域国道整備促進期成会福岡県県土整備部
要望 (福岡市)
全国木造建設事業協会災害協定締結式 (福岡市)
- 6 福岡県退職教職員協議会田川支会定期総会
福岡県市町村職員年金者連盟田川支部総会
上弓削田・県政報告会
- 7 田川ろうきん友の会バスハイク見送り / 県議会本
会議 (福岡市) / 県議会会派政策審議会 (福岡市)
福岡県県営住宅監理審議会 (福岡市) /
九州の自立を考える会総会・セミナー (福岡市) /
会派・福祉労働部懇親会 (福岡市)
- 8 県議会会派政策審議会 (福岡市) / NPO 法人田川
市体育協会懇親会 / 田川地区防災支援協賛会
- 9 県立田川高校「嶽南祭」/ 奈良地区県政報告会
- 10 車いすフェンシング全国大会視察 / 弓削田校区三
世代ふれあい地域安全安心まちづくり決起大会
- 11 後藤寺バスターミナル前歩道橋撤去に関する陳情
県議会会派政策審議会会合 (福岡市)
- 12 原水爆禁止日本国民会議要請行動 (福岡市)
県議会会派議員総会 (福岡市)
- 13 県議会本会議 (福岡市)
- 14 県議会本会議 (福岡市) / 八木山バイパス 4 車線化
整備促進議員連盟総会 (福岡市) / 県議会意見書等調
整会議 (福岡市) / 東鷹同窓会本部役員・学年幹事会
- 15 県議会本会議 (福岡市) / 県議会意見書等調整会議
(福岡市) / 福岡県産炭地域活性化対策議員連盟総会
(福岡市) / 過疎地域活性化対策福岡県議会議員連盟
総会 (福岡市) / まつり IN 田川実行委員会反省会
- 16 福岡県高等学校教職員組合第 76 回定期大会
(福岡市) / ゆめっせフェスタ
- 17 朝鮮歌舞団ディナーショー (福岡市)
- 18 県議会本会議 (福岡市) / 県議会意見書等調整会議 (福岡市)
- 19 県議会本会議 (福岡市) / 県議会意見書等調整会議 (福岡市)
- 20 県議会県土整備委員会 (福岡市)
第 27 回連合福岡議員懇談会定期総会・懇親会 (福岡市)
- 21 県議会陳情処理活動 (福岡市)
- 22 龍谷大学校友会福岡県北豊支部総会 (北九州市)
県議会同期会懇親会 (福岡市)
- 23 福岡県教職員組合田川支部定期総会 (香春町)
猪位金地区県政報告会
- 25 県議会本会議 (福岡市) / 県議会会派政策審議会 (福岡市)
- 26 JA たがわ第 19 回通常総会 / 田川商工会議所総会懇親会
- 27 終日陳情処理活動
- 28 県議会会派管外視察 (鳥根県)
- 29 県議会会派管外視察 (鳥根県)
- 30 県議会会派管外視察 (鳥取県)

第36回 弁護士による 無料法律相談開催

担当弁護士: 田川市役所前法律事務所 森竹 卓郎 弁護士

開催
日程 7月30日(月) 17:00～
(1回30分程度)

佐々木まこと事務所にて
※ご希望の方は7月27日(金)までに事務所までご一報下さい

ご予約
連絡先 0947-85-9015